

令和4年度（3年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和04年12月05日

1 事務事業 の 現 状 P L A N 及 び D O	事務事業名		No.	195	子ども会活動費補助事業							
	この事務事業 の位置		政策	安心して子どもを産み育て、誰もが豊かな心をはぐくむまち								
			施策	安心して子どもを産み、育てられる環境にしよう								
			基本事業	地域で子育てを支える環境								
	主管課名		子育て支援課			課長名	加藤 匡					
	この事務事業の開始時期		平成13(2001)年			事務区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務					
	この事務事業の根拠法令		みよし市地区子ども会活動事業実施要領									
	事業の概要					現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由						
	地区における子どもの健全育成を図り、児童福祉の増進に資することを目的に、子ども会（19団体）、ジュニアリーダークラブ（1団体）及び子育てクラブ（18団体）へ補助金を交付する。また、地区子ども会の諸活動の助長に関する事業を支援することにより、みよし市における子どもの健全な育成を図ることを目的として活動する子ども会育成連絡協議会の運営に対して補助金を交付する。 SDGsの取り組み：3, 4					子どもの自主性と社会性を高めるとともに、日常生活を健全で豊かなものにするを目的として活動する団体を支援するため。 活動子ども会 19団体 活動休止子ども会 6団体（高嶺、山伏、平池、中島、好住、上ヶ池）						
	R3年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等			各団体から提出された補助金交付申請について、内容を審査し、交付決定通知を行い、補助金を交付した。事業完了後は補助金実績報告が提出された。								
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか					(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）							
変 化 内 容	行政区によっては子どもの人口が減少し、子ども会活動の継続が困難な地域がある。				名称		単位					
					①	小学1～6年生の児童数	人					
					②							
対象(この事業の対象、範囲となる人、物)					(2) 対象指標（対象の大きさを表す指標）							
①子ども会 ②ジュニアリーダークラブ ③子育てクラブ					名称		単位					
					①	子ども会数	団体					
					②	子育てクラブ数	団体					
目的(この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか)					(3) 成果指標（目的の達成度を示す指標）							
子どもの自主性と社会性を高めるとともに、日常生活を健全で豊かなものにする。					名称		単位					
					①	子ども会会員数	人					
					②	子育てクラブ会員数	人					
結果(上位基本事業の意図)					(4) 結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）							
子どもが心身ともに健全に成長する					名称		単位					
					①	子育て環境に対する市民満足度割合	%					
					②							
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標												
指標 \ 年度		単位	R2年度 実績値	R3年度 計画値	R3年度 実績値	R4年度 計画値	R5年度 目標値	R6年度 目標値	R7年度 目標値			
(1)の 活動指標		① 人	3,738	3,712	3,712	3,703	3,672	3,657	3,637			
		②										
(2)の 対象指標		① 団体	19	19	19	19	19	19	19			
		② 団体	17	17	18	17	17	17	18			
(3)の 成果指標		① 人	2,878	2,970	2,760	2,970	2,970	2,970	2,970			
		② 人	2,179	2,180	2,094	2,180	2,180	2,180	2,180			
(4)の結果の 成果指標		① %	94	94	93	94	94	94	93			
		②										
予算費目		会計	01 一般会計				款	03	項	02	目	01
コスト		年度	R2年度 実績値	R3年度 計画値	R3年度 実績値	R4年度 計画値	R5年度 目標値	R6年度 目標値	R7年度 目標値			
事業費(決算又は予算額) A		単位	2,160	5,534	2,114	5,534	5,470	5,455	5,439			
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	一般財源	千円	2,160	5,534	2,114	5,534	5,470	5,455	5,439			
人件費 B		千円	1,395	1,395	1,395	1,395	1,395	1,395	1,395			
正職員従事時間×人数		時間×人	125×3	125×3	125×3	125×3	125×3	125×3	125×3			
正職員以外の人件費		千円	0	0	0	0	0	0	0			
その他の費用 C		千円	143	143	0	143	143	143	0			
トータルコスト A+B+C		千円	3,698	7,072	3,509	7,072	7,008	6,993	6,834			
単位あたりコスト ①		千円/団体	194.6	372.2	184.7	372.2	368.8	368.1	359.7			
(トータルコスト/(2)の対象指標) ②		千円/団体	217.5	416	194.9	416	412.2	411.4	379.7			

様式1-2

事務事業名		No.	195		子ども会活動費補助事業		
2 評価 CHECK	目的 妥当性	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> 得られていない	理由	補助金を交付し、事業が実施されていることにより、目的が達成できている。		
		事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	地域で子どもが主体的に活動する団体へ補助するものであり、対象を見直すことはできない。		
		事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	地域社会における児童の福祉の増進に資することを目的としており、環境変化に伴う見直しはない。		
	有効性	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内容		行政区単位ではなく、広域的な受入れを実施することにより、子ども会活動が休止している行政区に居住する子どもが活動に参加することができる。		
		目的達成状況	内容		対象児童が、各地区平均で75.2%加入している。		
		市関与の必要性（実施手法）	内容		<input type="checkbox"/> 民間への一部委託 <input type="checkbox"/> 民間への全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金助成 <input type="checkbox"/> 市の直営 地域で子どもが主体的に活動する団体の運営費の一部を補助している。		
効率性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内容		同様の目的で活動する団体はあるが、管轄する国の省庁が異なるため、統廃合することはできない。			
	現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等はないか？）	内容		行政区単位ではなく、広域的な活動を推奨することにより、効率的な活動に繋がり、事業費を削減することができる。			
公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> 現状で適正 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 検討が必要 <input type="checkbox"/> 受益者がいない	内容	運営費の一部を補助を補助する事業であるため、受益者に負担を強いるものではない。			
3 改革 改善案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意見	なし		対応策	なし	
	R4年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか	前年度	子ども会活動費補助金、ジュニアリーダークラブ活動費補助金、子育てクラブ活動費補助金及び子ども会育成連絡協議会活動費補助金の交付。		変更追加	継続して実施するため、前年度と同様・同規模で実施。	
	今後の事業・コスト・成果の方向性				今後の事業の方向性、改革・改善案		
	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 廃止・休止				※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 地域の子ども会役員や子育てクラブ役職者は、多くが毎年交代するので、地域での子ども会組織の担い手の育成という面では懸念される。		
コストの方向性				→ 維持			
成果の方向性				→ 維持			

令和4年度（3年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和04年12月05日

1 事務事業 の 現 状 P L A N 及 び D O	事務事業名		No.	200	児童館等活動運営事業						
	この事務事業の位置		政策	安心して子どもを産み育て、誰もが豊かな心をはぐくむまち							
			施策	安心して子どもを産み、育てられる環境にしよう							
			基本事業	地域で子育てを支える環境							
	主管課名		子育て支援課		課長名	加藤 匡					
	この事務事業の開始時期		昭和43(1968)年度		事務区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務					
	この事務事業の根拠法令		みよし市立児童厚生施設の設置及び管理に関する条例								
	事業の概要				現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由						
	児童館（13館）及び集会所内児童厚生施設（12館）を設置し、児童が安心して遊ぶことができる場を提供する。各施設に児童厚生員を配置し、児童館等行事を通じ、地域児童の育成及び指導行う。 S D G s の 取 り 組 み : 3 , 4				各種行事等の開催を通じて、児童の情操教育や連帯意識の高揚を図る。						
	R3年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等			児童館は午前10時から午後5時まで、集会所内児童厚生施設は午後2時から午後5時まで開館し、児童厚生員が企画した行事を実施した。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、施設内での飲食は禁止とし、利用人数及び利用時間等の制限を設け、入場時の検温、手指消毒の徹底及び空気清浄等の対策をして開館した。							
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか				(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）							
変 化 内 容	施設の老朽化により、修繕を必要とする箇所が増加している。			名称		単位					
				① 児童館等年間開館総日数		日					
				②							
対象(この事業の対象、範囲となる人、物)				(2) 対象指標（対象の大きさを表す指標）							
18歳未満の児童				名称		単位					
① 18歳未満の児童数				人							
②											
目的(この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか)				(3) 成果指標（目的の達成度を示す指標）							
安心して過ごすことができる				名称		単位					
① 児童館等年間利用者数				人							
②											
結果(上位基本事業の意図)				(4) 結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）							
児童が心身ともに健全に成長する				名称		単位					
① 子育て環境に対する市民満足度割合				%							
②											
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標											
指標 \ 年度	単位	R2年度 実績値	R3年度 計画値	R3年度 実績値	R4年度 計画値	R5年度 目標値	R6年度 目標値	R7年度 目標値			
(1)の 活動指標	① 日	5,170	6,150	5,441	6,150	6,150	6,150	6,150			
	②										
(2)の 対象指標	① 人	11,350	11,620	11,057	11,500	11,385	11,271	11,158			
	②										
(3)の 成果指標	① 人	44,745	100,800	58,506	100,900	101,000	102,000	103,000			
	②										
(4)の結果の 成果指標	① %	94	94	93	94	94	94	93			
	②										
予算費目	会計	01 一般会計				款	03	項	02	目	03
コスト	年度	R2年度 実績値	R3年度 計画値	R3年度 実績値	R4年度 計画値	R5年度 目標値	R6年度 目標値	R7年度 目標値			
事業費(決算又は予算額) A	単位	29,033	14,644	10,421	7,218	7,244	7,247	7,249			
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	6,500	0	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0	0	0	0			
	一般財源	千円	22,533	14,644	10,421	7,218	7,244	7,247	7,249		
人件費B	千円	5,390.3	5,390.3	5,390.3	5,390.3	5,390.3	5,390.3	5,390.3			
正職員従事時間×人数	時間×人	483×3	483×3	483×3	483×3	483×3	483×3	483×3			
正職員以外の人件費	千円	0	0	0	0	0	0	0			
その他の費用C	千円	557	557	0	557	557	557	0			
トータルコストA+B+C	千円	34,980.3	20,591.3	15,811.3	13,165.3	13,191.3	13,194.3	12,639.3			
単位あたりコスト	① 千円/人	3.1	1.8	1.4	1.1	1.2	1.2	1.1			
	② 千円/	0	0	0	0	0	0	0			

事務事業名	No.	200	児童館等活動運営事業
-------	-----	-----	------------

2 評価 CHECK	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> 得られていない	理由	地域に密着した安心して過ごせる居場所を提供するため、環境を整備している。
	事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	児童福祉法に定められた児童（18歳未満）を対象としており、見直すことはできない。
	事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	児童に健全な遊び場を与えて、その健康を増進し情操を豊かにすることを目的としており、環境変化に伴う見直しはない。
有効性	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内容	児童厚生員への研修等を実施し、資質が向上することにより、地域児童の育成及び指導に繋がる。	
	目的達成状況	内容	令和3(2021)年度は新型コロナウイルス感染症の拡大により利用者数が減少したが、令和4(2022)年度以降は概ね計画どおりの利用者数で推移する予定。	
	市関与の必要性 (実施手法)	内容	<input type="checkbox"/> 民間への一部委託 <input type="checkbox"/> 民間への全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金助成 <input checked="" type="checkbox"/> 市の直営 地域で子どもの成長を見守る環境を整備するため	
効率性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内容	社会福祉施設に関わる事業との統合は可能だが、事務が煩雑になり効率化を図ることができない。	
	現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等ではないか？）	内容	児童厚生員は令和2(2020)年度以降、特別職から会計年度任用職員に移行している。従事時間については、開館時間が固定であり、配置職員人数は適正であるため、削減できない。	
公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> 現状で適正 <input checked="" type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 検討が必要 <input type="checkbox"/> 受益者がいない	内容	児童が心身ともに健全に成長するための場所を提供するものであり、受益者負担を求める施設ではない。

3 改革 改善 案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意見	なし	対応策	なし
	R4年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか	前年度	児童館（13館）及び集会所内児童厚生施設（12施設）の開館。	変更・追加	ランドセル来館を試行実施する。
	今後の事業・コスト・成果の方向性	今後の事業の方向性、改革・改善案 ※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 ランドセル来館を実施し、利用者増を図っていく。			
	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 廃止・休止				
	コストの方向性	→ 維持			
	成果の方向性	→ 維持			

令和 4年度（3年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和04年12月05日

1 事務事業 の 現 状 P L A N 及 び D O	事務事業名		No.	190	放課後児童健全育成事業					
	この事務事業の位置		政策		安心して子どもを産み育て、誰もが豊かな心をはぐくむまち					
			施策		安心して子どもを産み、育てられる環境にしよう					
			基本事業		地域で子育てを支える環境					
	主管課名		子育て支援課		課長名	加藤 匡				
	この事務事業の開始時期		平成11(1999)年度		事務区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務				
	この事務事業の根拠法令		児童福祉法第6条の3第2項							
	事業の概要				現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由					
	保護者の就労等により家庭での監護養育に欠ける児童を対象に、学校の空き教室などを利用し、保護者が帰宅するまで、指導員のもとで自主活動、遊びを中心とした生活の場所を提供する。また、民間児童クラブの運営費を補助して、公立児童クラブの待機児童を削減するとともに、民間児童クラブの利用料負担軽減を図る。令和元(2019)年度までに市内8校全ての児童クラブを2教室化した。 通年利用は、毎週月曜日から金曜日までの開校日。 SDGsの取り組み：3, 4, 8				少子化・核家族化が進むなかで女性の社会進出とも相まって、昼間保護者のいない家族が多くなり、放課後児童クラブの利用ニーズは高まっている。待機児童の増加に伴い、全ての学校区で2教室化して運営している。					
	R3年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等			8児童クラブにおいて民間委託にて運営を行い、1年生から6年生を対象として開所した。通年利用料は、通常月額5,100円、8月期のみ8,000円を徴収した。待機児童対策として、定員に余裕のあるクラブへ児童をタクシーで移送する事業を開始した。						
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか				(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）						
変 化 内 容	児童クラブの入所希望児童が増加傾向にある			名称		単位				
				① 児童クラブ延べ利用者数		人				
				②						
対象(この事業の対象、範囲となる人、物)				(2) 対象指標（対象の大きさを表す指標）						
①小学1～6年生の児童 ②入所を希望する児童及び保護者				名称		単位				
				① 小学1～6年生の児童数		人				
				② 入所を希望する児童数		人				
目的(この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか)				(3) 成果指標（目的の達成度を示す指標）						
入所希望保護者の児童を入所できるようにする				名称		単位				
				① 入所児童数		人				
				②						
結果(上位基本事業の意図)				(4) 結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）						
児童クラブの環境整備				名称		単位				
				① 子育て環境に対する市民満足度割合		%				
				②						
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標										
指標 \ 年度		単位	R2年度実績値	R3年度計画値	R3年度実績値	R4年度計画値	R5年度目標値	R6年度目標値	R7年度目標値	
(1)の活動指標		① 人	84,938	87,000	92,092	87,000	87,000	87,000	87,000	
		②								
(2)の対象指標		① 人	3,738	3,712	3,712	3,703	3,672	3,657	3,637	
		② 人	766	850	849	850	850	850	850	
(3)の成果指標		① 人	735	810	821	810	810	810	810	
		②								
(4)の結果の成果指標		① %	94	94	93	94	94	94	93	
		②								
予算費目		会計	01 一般会計				款	03	項	02
コスト		年度	R2年度実績値	R3年度計画値	R3年度実績値	R4年度計画値	R5年度目標値	R6年度目標値	R7年度目標値	
事業費(決算又は予算額) A		単位	164,534	180,852	175,855	178,460	176,101	178,984	181,213	
財 源 内 訳	国庫支出金		千円	22,903	23,388	23,787	24,127	24,339	24,339	24,339
	県支出金		千円	28,403	23,388	22,389	24,127	24,339	24,339	24,339
	地方債		千円	0	0	0	0	0	0	0
	その他		千円	30,539	42,641	37,020	42,702	42,652	42,672	42,672
	一般財源		千円	82,689	91,435	92,659	87,504	84,771	87,634	89,863
人件費B		千円	9,579	9,579	9,579	9,579	9,579	9,579	9,579	
正職員従事時間×人数		時間×人	515×5	515×5	515×5	515×5	515×5	515×5	515×5	
正職員以外の人件費		千円	0	0	0	0	0	0	0	
その他の費用C		千円	991	991	0	991	991	991	0	
トータルコストA+B+C		千円	175,104	191,422	185,434	189,030	186,671	189,554	190,792	
単位あたりコスト ①		千円/人	46.8	51.6	50	51	50.8	51.8	52.5	
(トータルコスト/(2)の対象指標) ②		千円/人	228.6	225.2	218.4	222.4	219.6	223	224.5	

事務事業名	No.	190	放課後児童健全育成事業
-------	-----	-----	-------------

2 評価 CHECK	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> 得られていない	理由	定員以上の入所希望者がいるクラブもあり、必要性は高まっている。
	事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありますか？	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない	その理由	対象児童は小学1～6年生であるため見直しはないが、同居家族の就労要件については見直しを検討していく。
	事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありますか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	市民のニーズを目的としているため、見直す必要はない。
有効性	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内容	公立児童クラブまたは民間児童クラブを増設する。	
	目的達成状況	内容	計画どおり児童を入所できるようにしている。	
	市関与の必要性 (実施手法)	内容	<input type="checkbox"/> 民間への一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 民間への全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金・負担金助成 <input type="checkbox"/> 市の直営 公立児童クラブは全て民間委託し、民間児童クラブには補助金を助成し、児童の受け入れを拡大している。	
効率性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内容	児童福祉法第6条の3第2項に規定されているため、統廃合はできない。	
	現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等はないか？）	内容	民間へ委託できる業務については既にも実施している。	
公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> 現状で適正 <input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 検討が必要 <input type="checkbox"/> 受益者がいない	内容	令和元(2019)年度に受益者負担の見直しを行い、適正な受益者負担としている。

3 改革 改善案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意見	北部・天王児童クラブで待機児童が毎年発生している。	対応策	利用人数の少ないクラブへの移送等を行う。
	R4年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか	前年度	8クラブの運営を民間委託にて実施。	変更追加	継続して実施するため、前年度と同様・同規模で実施。
今後の事業・コスト・成果の方向性			今後の事業の方向性、改革・改善案		
<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 廃止・休止			※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容 児童が安心して過ごすことができる児童クラブの環境を整え、児童の健全な育成を図る。		
コストの方向性			→ 維持		
成果の方向性			→ 維持		

令和 4年度（3年度実施分）事務事業目的評価表

様式1-1

記入日

令和04年12月05日

1 事務事業 の 現 状 P L A N 及 び D O	事務事業名		No.	191	ファミリーサポート事業							
	この事務事業 の位置		政策	安心して子どもを産み育て、誰もが豊かな心をはぐくむまち								
			施策	安心して子どもを産み、育てられる環境にしよう								
			基本事業	地域で子育てを支える環境								
	主管課名		子育て支援課		課長名	加藤 匡						
	この事務事業の開始時期		平成17(2005)年10月3日		事務区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input checked="" type="checkbox"/> 自治事務						
	この事務事業の根拠法令		みよし市ファミリー・サポート・センター事業実施要綱									
	事業の概要				現在の状況とこの事務事業を行う根拠または理由							
	「仕事と育児の両立のために」を目標に「子育てを助けて欲しい」（依頼会員）「子育てのお手伝いをしたい」（援助会員）と思っている方が、会員となり、お互いに助け合いながら活動する。 SDGsの取り組み：3, 4, 8				女性の社会進出や就労形態の多様化に伴い、子どもを保護者のみで養育する事に限界を感じている親が増えている。 また、就労形態の多様化による保護者の生活スタイルの変化に伴い短時間の保育ニーズが拡大しており、地域内で子育て支援の相互援助が図れる環境が必要になってきている。							
	R3年度に実施した具体的な事業の方法、手順、指標に対する成果等				①会員の募集及び登録を行い、説明会、講習会及び交流会を実施した。 ②会員相互のニーズを把握し、援助活動の実施に向けて調整した。 ③ファミサポ通信を発行し、市民に事業を周知した。							
事務事業を取り巻く状況は過去と比べ変化しているか					(1) 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）							
変 化 内 容	保護者の保育ニーズの多様化により、短期間・短時間の保育、病児・病後児の支援を必要とする保護者が増加している。				名称		単位					
					① 依頼会員数			人				
					② 援助会員数			人				
対象(この事業の対象、範囲となる人、物)					(2) 対象指標（対象の大きさを表す指標）							
①生後2か月から小学6年生の児童を養育している者 ②市内在住の20歳以上の者					名称		単位					
					① 生後2か月から小学6年生の児童数			人				
					② 20歳以上の人数			人				
目的(この事業によって上記対象をどのような状態にしたいのか)					(3) 成果指標（目的の達成度を示す指標）							
会員相互の育児に関する援助活動を実施する					名称		単位					
					① 援助活動実施数			件				
					②							
結果(上位基本事業の意図)					(4) 結果の成果指標（上位基本事業の成果指標）							
ファミリー・サポート・センター事業の充実					名称		単位					
					① 子育て環境に対する市民満足度割合			%				
					②							
事務事業の各種指標の実績と見込及び目標												
指標 \ 年度		単位	R2年度 実績値	R3年度 計画値	R3年度 実績値	R4年度 計画値	R5年度 目標値	R6年度 目標値	R7年度 目標値			
(1)の 活動指標		① 人	216	312	170	343	378	416	456			
		② 人	58	76	44	79	82	85	88			
(2)の 対象指標		① 人	7,802	7,652	7,675	7,499	7,349	7,202	7,058			
		② 人	48,333	48,253	48,619	48,494	48,736	48,979	49,223			
(3)の 成果指標		① 件	1,460	2,340	1,233	2,457	2,580	2,709	2,844			
		②										
(4)の結果の 成果指標		① %	94	94	93	94	94	94	94			
		②										
予算費目		会計	01 一般会計				款	03	項	02	目	01
コスト		年度	R2年度 実績値	R3年度 計画値	R3年度 実績値	R4年度 計画値	R5年度 目標値	R6年度 目標値	R7年度 目標値			
事業費(決算又は予算額) A		単位	423	1,893	579	1,203	670	670	670			
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0	0	0	0	0			
	一般財源	千円	423	1,893	579	1,203	670	670	670			
人件費B		千円	5,487	5,487	5,487	5,487	5,487	5,487	5,487			
正職員従事時間×人数		時間×人	295×5	295×5	295×5	295×5	295×5	295×5	295×5			
正職員以外の人件費		千円	0	0	0	0	0	0	0			
その他の費用C		千円	0	0	0	0	0	0	0			
トータルコストA+B+C		千円	5,910	7,380	6,066	6,690	6,157	6,157	6,157			
単位あたりコスト		千円/人	0.8	1	0.8	0.9	0.8	0.9	0.9			
(トータルコスト/(2)の対象指標)		千円/人	0.1	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1			

事務事業名	No.	191	ファミリーサポート事業
-------	-----	-----	-------------

2 評価 CHECK	この事業の必要性は薄れていませんか。十分な成果が得られていますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 得られている <input type="checkbox"/> 得られていない	理由	保護者の保育ニーズの多様化により、短期間・短時間の保育、病児・病後児の支援を必要とする保護者が増加している。
	事業進展等による環境変化に伴い、対象を見直す（拡大・縮小）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	援助が必要な対象児童を設定しているため、見直す必要はない。
	事業進展等による環境変化に伴い、目的を見直す（目的の追加・拡充又は絞込）必要はありませんか？	<input type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> ない	その理由	会員のニーズに対応しているため、見直す必要はない。
有効性	今以上に事業の成果を向上させる方法を記入して下さい。 ※(3)の成果指標を向上させることはできますか？	内容	事業の周知を図り、会員数を増加させる。	
	目的達成状況	内容	新型コロナウイルス感染症拡大により援助依頼数が減少し、令和3（2021）年度の援助活動実施数が令和2（2020）年度と比較して16%減少した。	
	市関与の必要性（実施手法）	内容	<input type="checkbox"/> 民間への一部委託 <input type="checkbox"/> 民間への全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 補助金・負担金助成 <input checked="" type="checkbox"/> 市の直営 地域における育児の相互援助の実施を推進することができる。	
効率性	事務事業の統廃合により、事業の効率化を図り、成果を向上させる方法を記入して下さい。	内容	国が定める子育て援助活動支援事業（ファミリー・サポート・センター事業）実施要綱に基づき市に設置するものであるため統廃合できない。	
	現状より事業費・人件費を削減する方法を記入して下さい。（仕様の変更、外部委託、従事時間の削減等はないか？）	内容	民間委託により事業費・人件費の削減は可能。	
公平性	受益者負担はありますか？ また、受益者負担割合は適正ですか？	<input checked="" type="checkbox"/> ある <input checked="" type="checkbox"/> 現状で適正 <input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> 検討が必要 <input type="checkbox"/> 受益者がいない	内容	近隣市町とほぼ同額の利用料を設定している。

3 改革 改善案 ACTION	事業実施上の課題、住民・議会等からの意見と対応策	意見	なし	対応策	なし
	R4年度の事業計画は前年度から変更・追加はあるか	前年度	会員の募集及び登録 説明会、講習会及び交流会の実施 援助活動の調整 ファミサポ通信の発行	変更 追加	継続して実施するため、前年度と同様・同規模で実施。
	今後の事業・コスト・成果の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 廃止・休止		今後の事業の方向性、改革・改善案 ※今年度からの具体的な事業の進め方、手段の見直し等、各方向性の内容多様なニーズに対応することができるように、民間委託を検討する。	
	コストの方向性	↓ 減少			
	成果の方向性	→ 維持			